

やさど



かしこく、あたたかく、たくましく

平成24年12月3日

第21号

「光陰矢のごとし」・・・早いもので二学期も、最後の月「師走」を迎えました。この二学期を振り返ってみると、運動会、音楽集会、かけ足運動・記録会などいろいろな行事がありました。他にも、陸上記録会、修学旅行、自然教室、三泗音楽会、社会見学等、学年でも数々の行事がありました。実った稲やさつまいもを自分の手で収穫したときのうれしそうな笑顔、全力で走りゴールした時のきらきらした目の輝き、みんなの心を一つにして歌ったきれいな音色など、目を閉じると私の心に浮かんできます。きっと子どもたちの心の中にも、よい思い出として残っているのではないのでしょうか。

こうした行事を通して、感性が磨かれたり、精神的に鍛えられたりしていると確信しています。

今月は、二学期のまとめの月となります。これまでの学習・生活を振り返り、意欲を持って取り組めるといいですね。

図工の魅力

校内をまわっていると、教室の後ろや廊下で子どもたちの作った作品にたくさん出会います。それぞれ、芸術の秋にふさわしく、自分なりに表現していて、とても興味深いです。

「図画工作」の、「図」は図る。いろいろと試みたり、企てたりすること。「画」は絵や図に表す、描くこと。「工」は「たくむ」。「巧妙に」ということ。「作」は「つくる」。つまり、「よく見て写しとること（図画）」と「巧妙に作り上げること（工作）」。それが図画工作の持っている意味だそうです。（東京芸術大学教授藤幡正樹氏）

知識を得る国語や算数の時間と違って、手を動かして自由に表現する図工の時間を楽しみにしている子どもたちは多いはずです。そんな子どもたちの表現したい思いを大切に、豊かな表現を引き出そうと、題材や材料の与え方、用具の使い方、展示の仕方などこだわって指導しています。



1年生は生活科で集めた秋の材料でリースを作りました。



2年生・・・ステンドグラスみたいで光が当たるととてもきれいです。廊下にも映っていました。



3年生の力作です。卵をはりこで作ってから中の世界を表現しました。



4年生のビー玉迷路。ビー玉が転がる道を作るのが難しそうです。果たしてゴールまで行けるかな。



5年生「気球に乗って」も飾り方です。いぶん印象が違ってきます。細かい部分までこだわっています。



6年生は時間をかけて小学校から見えるわが町を思い思いに表現しました。

最後まで走ったよ…高学年かけ足記録会

『身体の持久力・忍耐力を養い、自己のペースで完走する』ことをねらいとして、11月30日に高学年のかけ足記録会を伊坂ダムにて行いました。この日のために、体育の時間や休み時間に一生懸命練習して来ました。当日は、体調不良で参加できなかった子を除けば、一人の棄権者を出すこともなく、参加者全員が自分の目標を目指して走り切ることができました。長い距離を苦しくても最後まで走り抜いた子どもたちに拍手を贈ります。



小学校生活最後の持久走（6年）

また、たくさんの保護者の皆様にも、応援に来ていただきました。「がんばって」「あと少し」という、温かい励ましの言葉や拍手に子どもたちもラストスパートをかけていました。たくさんの温かいご声援ありがとうございました。

学校運営協議会…コミュニティスクールの様子

11月28日に、第6回学校運営協議会が行われました。

今、話し合いの中心になっているのは、

- ・ 学校防災・・・学校の防災マニュアルに対してのご意見、備蓄品の必要有無、防災頭巾について
- ・ 学校資料室関連・・・資料室と隣接教室の有効活用、収集品の管理等
- ・ 安全部会より・・・通学路危険箇所の対応について

です。これらのことについて地域と学校が協働し、八郷の子どもたちの健やかな育ちに必要な取組を積極的に提案できるように進めています。